

令和6年度 第3回北区介護サービス事業所連絡会研修会を開催しました

2月21日（金）に第3回北区介護サービス事業所連絡会研修会を開催しました。当日は37名のサービス事業所の方々にご参加いただきました。

第1部では「在宅と施設サービスのACP～連携、共有、実践～」について、名古屋市西区訪問看護ステーションスペースがん性疼痛看護認定看護師の林様より、下記の4つの事項に沿って講義をしていただきました。

- ACPのプロセス
- 医療の中での意思決定のプロセス
- ACPをいつ開始するか？
- 看取りに関する方針の決定、他職種間での共有

「終末期のACP、何らかの形になる前に未完成で終わる(患者さんが亡くなる)こともしばしばであるが、医療者はそのことに無力感や不全感を持つ必要は無い。なぜなら、終末期におけるACP自体が緩和ケアだったから」

角田ますみ編著 「患者、家族に寄り添うアドバンスケアプランニング」よりこの言葉には会場にいる方よりとても心に染みたとの発言が多かった。

その後グループワークをして本人の本当の意向を聞き取る難しさを話し合いました。

本人の言葉が本当なのか、その奥底に隠れている思いを聞き取り、チーム内でその言葉の大事なニュアンスが伝わるようコミュニケーションが必要との意見が出ました。また急変時の対応について可視化してわかる文章を残しておく対応が必要との意見もありました。

